

社会福祉法人 阪南市社会福祉協議会職員による「私たちの決心」

私たちの社会福祉協議会は設立後、地域でのお年寄り（高齢者）たちや幼い子ども（乳幼児・児童）たち、そして障がいがある子どもたちや青年（障がい児者）たちへの支援、さらには福祉サービス等の契約に不安を抱える人たちへの支援を柱に、地域内での住民の皆さまのご理解とご協力を受け、常に住民の側に立ち地域での暮らしを支えるという重要な役割を果たしてきました。

しかし、昨年のお金横領という不祥事を起こし、長きにわたり広く市民の皆さまとの間で築きあげてきた信頼を失うことになりました。それは福祉のまちづくりに共に取り組んできた、個人や関係機関、団体の皆さまによる地域福祉の推進に影響を与え、広くご支援を頂いてきた皆さまに多大なご迷惑をお掛けしました。

職員一人ひとりが心より反省し、お詫び申し上げます。

この横領事件は共に働いていた組織内において引き起したものであり、このことが社会福祉協議会の信頼を失墜させるとともに、組織の運営基盤自体が揺らぎました。

それは、私たちが提供する各種の福祉事業やサービスが継続実施できず、高齢者や障がいのある方々など一人ひとりの暮らしや健康が脅かされ、人権が守れないという重大な問題であることを強く確かめました。

地域福祉は福祉のまちづくりであり、働き学び暮らす住民一人ひとりが大切にされることが重要です。私たち職員は、働く者そして生活する者の立場で、これまで以上に会員・関係者・皆様と手を携え、住民自治による地域福祉の推進に取り組んでまいります。

今後においては、住民の暮らしに係る全ての事業は健全で安定した組織運営の上にごそ成り立つことを強く心に刻み、私たち職員は丸となり、皆さまからの信頼回復に精進努力することをお約束し、ここに『私たちの決心』を作成しました。

① 私たち職員は、法令及び本会定款等諸規程を遵守して職務に努めます

私たち職員は、法令及び本会定款等諸規程の遵守はもちろん、社会的規律や職場内ルールに沿って行動する重要さを確認しました。

社会福祉協議会が、社会福祉法において、全ての地方自治体に設置を位置づけられており、地域福祉推進での重要な役割を担っていることを踏まえ直し、職員は個々に定められた職務を責任をもち遂行してまいります。

② 私たち職員は、皆さまの信頼を取り戻すため、誠意をもってひたむきに職務に努めます

私たちの社会福祉協議会の運営は、多くの市民・団体・企業の皆さまのご協力による、心のこもった会費や寄付金、また大切な税金で運営されていることを再認識しました。事業ごとに皆さまからご協力いただいたお金がどのような目的でどのように活用され、そのことでどれだけの成果があげられているのかを事業計画や事業報告及び予算や決算等での情報提供を通じ、皆さまの暮らしにどのように反映されているのかを、広く理解していただけるよう説明責任を果たしてまいります。

③ 私たち職員は、これまでの活動の積み重ねを大切にし、その責任を後退させないことを決意し職務に努めます

私たち職員は、不祥事の発覚後も、これまで住民皆さまの暮らしを支えてきた活動の積み重ねを維持し、全ての市民の地域での安心で自立した暮らしを守り支えるために、私たち社会福祉協議会の活動を決して止めることや後退させることのないよう、職務に努めてまいりました。

住民の誰もが地域の中で、自分らしく安心して暮らし合えるよう、隣近所での繋がりや校区福祉委員会を中心として、様々なボランティア活動や市民活動が地域で共同・連携できるよう取り組んでまいります。

④ 私たち職員は、民の要として地域福祉の推進役としての使命と誇りをもって職務に努めます

私たち社会福祉協議会は社会福祉法において、唯一の「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」(第109条)として位置づけられています。また阪南市地域福祉推進計画では、民の側の要として地域福祉を牽引してきました。行政と対等なパートナーシップを築き、住民活動を支え、つなぎ、発展させるための使命と誇りを持ち、住民自治による地域福祉の大いなる実現のため、公民協働の福祉のまちづくりを進めてまいります。

⑤ 私たち職員は、互いに信頼し尊重し合い、より民主的な職場を目指します

私たち職員は、職場における職員間でのコミュニケーションの大切さを認識し合いました。今後は、職員会議のあり方や情報伝達方法の見直しを行う等、改善を図ってまいります。

また、職務の遂行にあたり報告・連絡・相談を徹底するとともに、すべての職員が意見を出し合い合意による決定がなされ、互いに信頼し尊重し合えるより良い職場づくりを実現します。

私たち職員は、常に自己研鑽、相互研鑽に努めてまいります。

⑥ 私たち職員は、市民の皆さまが気軽に訪れ相談できる窓口づくりを更に目指します

私たち職員は子どもから高齢者まで誰もが気軽に訪れ、交流し相談できる窓口づくりに努めてまいりましたが、より一層皆様の悩みや思いを受けとめ、皆様が笑顔になれる窓口を目指してまいります。

相談を通して、住民活動や利用者から受け止めた切実な声に寄り添い、既存事業の充実や新規事業の開拓に向け積極的な企画提案を行ってまいります。

⑦ 実践あるのみ !!

私たち職員は、この言葉を大切にし、全てのことに全力で取り組んでまいります。